

## 格子間仕切

### 施工業者様へ

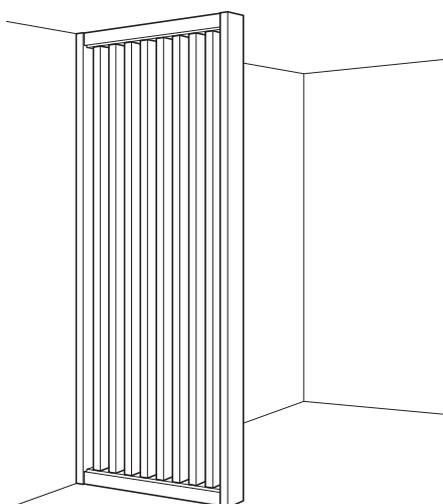
弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくための  
のお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した  
「取扱説明書」を添付しております。

必ず、取扱説明書をお施主様に手渡し、使用方法  
を説明していただきますようお願いいたします。

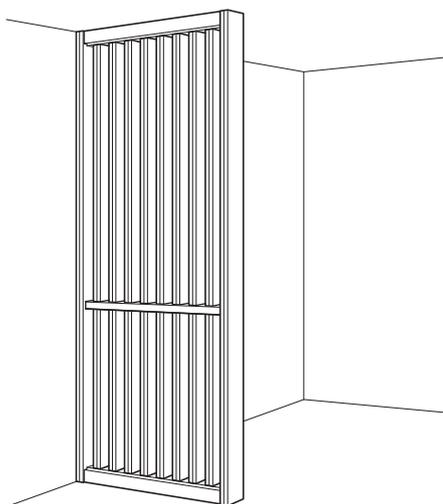
※ 取扱説明書は下記のURLからダウンロードできます。  
<https://www.daiken.jp/qr/manual/>



表



裏



### ⚠ 注意

❗ 本製品は、表と裏で意匠が異なります。  
お施主様とご相談のうえ、施工を行ってください。

## もくじ

### 施工説明書

1. 安全上のご注意	1
2. 製品寸法図	2
3. 施工の流れ	4
4. 各部のなまえ	5
5. 構成部材	6
6. 施工前の確認と準備	7
7. 端縦格子・縦格子の切断・加工	8
8. ユニットの組立て	10
9. 端縦格子と床・天井受け棧の取付け	12
10. ユニットの取付け	15
11. 幕板の取付け	17

### 取扱説明書

1. 安全上のご注意	18
2. 使用上のお願い	18
3. お手入れのしかた	18

- この製品の性能と安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき、手順通りに正しく施工してください。
- この説明書に出てくる ⚠、🚫 マークや **お願い** は、施工上重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから作業してください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。
- 製品を廃棄する際は、法律および地方自治体の規則に基づいて適切に処理してください。

### ■ 施工の際は以下の工具をご用意ください。

- 電動ドリル  
※インパクトドライバーは金具の破損やユニットの破損につながるおそれがあるため、使用しないでください。
- ゴムハンマー ・ 水準器
- 丸ノコ/手ノコなど現場カット用工具類
- コンベックス等測定機器
- クランプ/万力など（格子連結用）
- ピンタッカー

# 1. 安全上のご注意（必ずお守りいただきたいこと）

この製品をお施主様が末永く安全に使えるように、またトラブルなく確実な施工をするために、以下のことを必ず守ってください。

## 警告表示の種類と内容

	<b>警告</b>	誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容		<b>注意</b>	誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容
---	-----------	-------------------------------	---	-----------	---------------------------------

本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。

	してはいけない内容です		必ず実行していただく内容です		留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法等
---	-------------	---	----------------	---	----------------------

### 警告

-  この製品は天井と床面に固定してください。壁に取付ける場合は、壁面にも固定してください。また、固定の際は、必ず十分な強度がある下地に、確実に固定してください。  
十分な強度がない天井、床面、壁面に固定すると、製品が外れたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。下地材の条件については、7ページをご覧ください。

-  この製品は分割されたユニットで構成されています。指定の手順通りにそれぞれのユニットを組立て、天井と床の受け桟に正しく取付けてください。  
誤った手順で施工すると、この製品の性能と安全性が確保できません。
-  ビスの締め付け不足、またはビスの締め過ぎによる空回りの状態に注意してください。  
製品が外れて、けがや破損のおそれがあります。

### 注意

-  この製品は、一般住宅向け室内用です。他の用途に使用しないでください。  
屋外での使用や水濡れは、変色や変形の原因になり、事故につながるおそれがあります。
-  施工の作業は、必ず2人以上で行ってください。  
1人での作業は、思わぬ事故のおそれがあります。
-  製品の分解や改造をしないでください。  
施工時に製品の形状を変えるような加工などをされた場合は、品質保証責任を負いかねます。
-  設置する際には、下げ振りや水準器などで設置場所の水平・垂直をよく確認してください。  
この製品の性能と安全性が確保できません。
-  ななめ天井、直張り工法床、床暖房部分には設置できません。  
この製品の性能と安全性が確保できません。また、床暖房パネルや配管などをキズ付けるおそれがあります。
-  製品を立てかけたり、不安定な場所に置いたりしないでください。また、運搬時に引きずったり、ぶつけたりしないでください。  
反り・キズの原因となります。

-  屋外や浴室等の湿気の多い場所、キッチン等の火気の近くに設置しないでください。  
製品の反り、ねじれ、腐食の原因となります。また、引火のおそれがあります。
-  コンクリート・モルタル・タイルへの設置はできません。  
必ず木質仕上げ材の上に設置してください。  
製品の反り、ねじれ、腐食の原因となります。
-  施工後、引渡しまでの間に、長時間直射日光が当たる場合や、室内が高温多湿になる場合は、製品の養生や室内の換気を行ってください。  
製品が反るおそれがあります。
-  必ず指定の位置に下穴をあけて、部材の組立て、取付けを行ってください。  
製品の性能と安全性が確保できません。

**お願い** 養生テープを、直接製品に貼付けしないでください。  
表面化粧がはがれたり、接着剤が残ることがあります。

## 製品の構成とホルムアルデヒド発散区分

この製品のホルムアルデヒド発散に関する性能担保は、下表のようになっております。建築確認の際にこの資料をご利用ください。

### 規制対象外 (F☆☆☆☆)

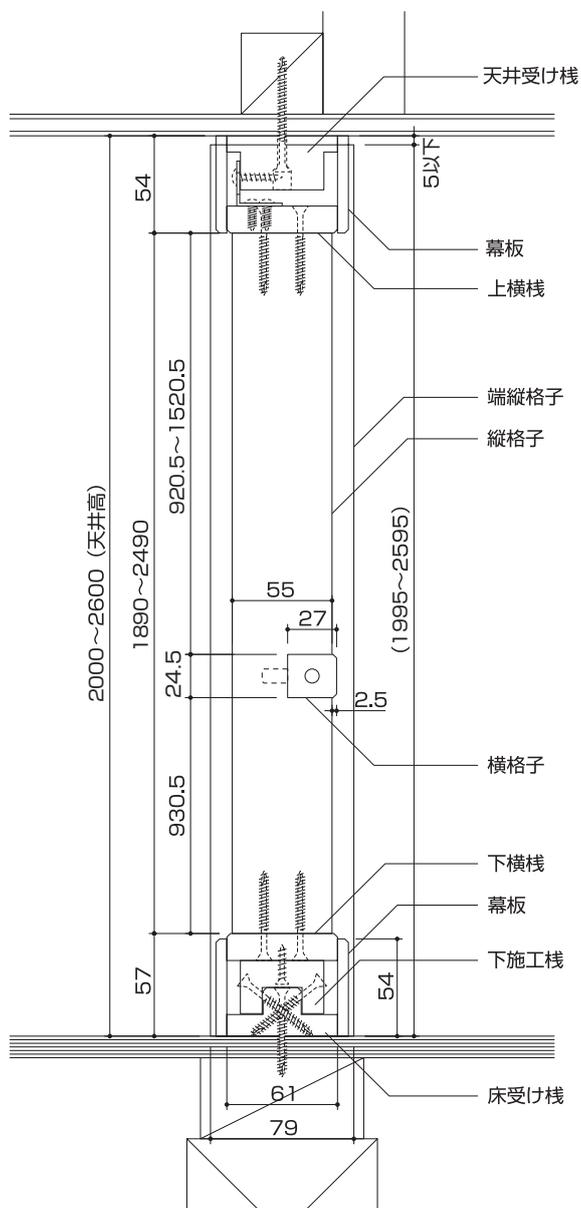
構成部位	表面材料	発散区分	認定番号
① 格子・横桟・幕板	化粧MDF	日本建材・住宅設備産業協会表示登録品	規制対象外 (F☆☆☆☆) K-002058

### 規制対象外部位・告知対象外

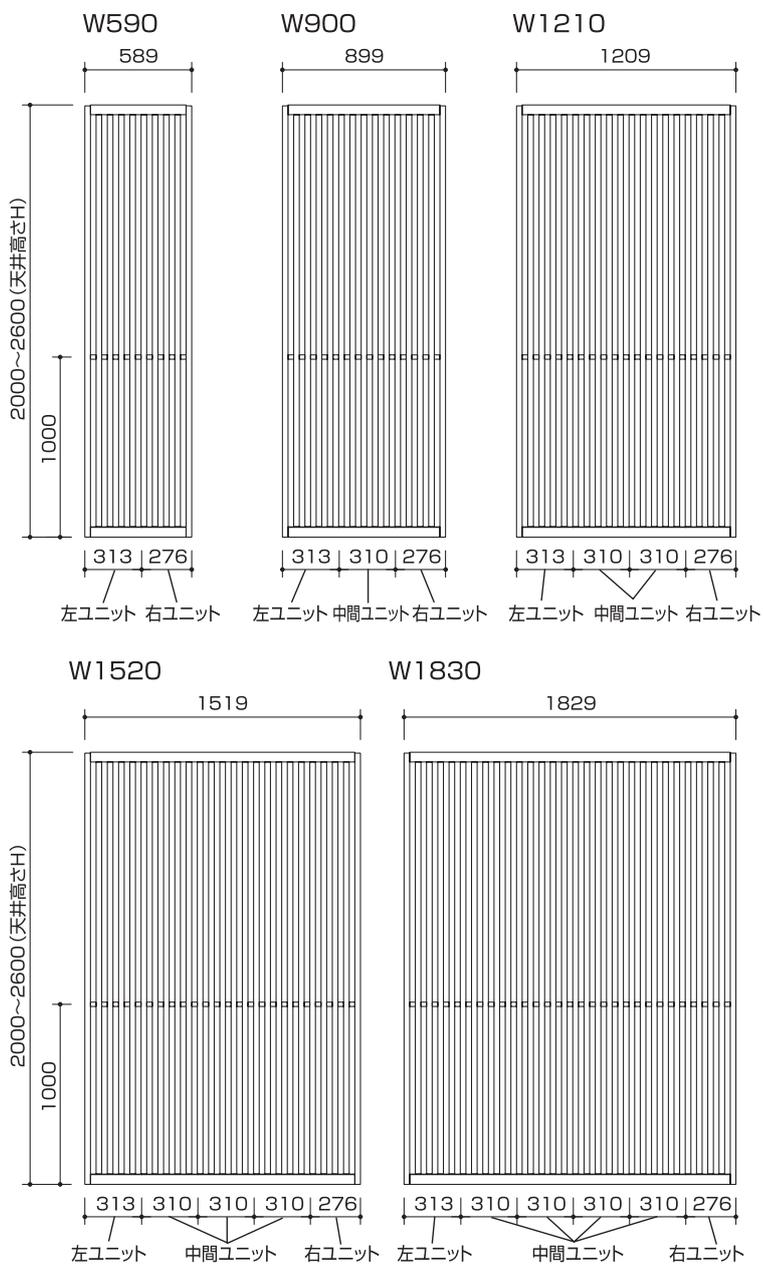
② 下地桟	規制対象外 (F☆☆☆☆) 同等品質材料を使用
-------	-------------------------

# 2. 製品寸法図

縦断面



寸法図

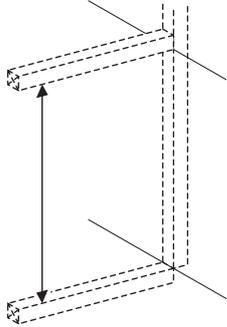


※単位[mm]

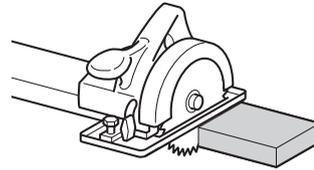


# 3. 施工の流れ

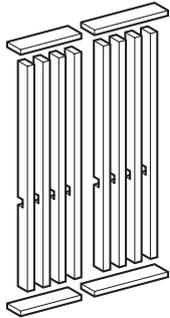
1. 施工前の確認と準備  
(→P.7)



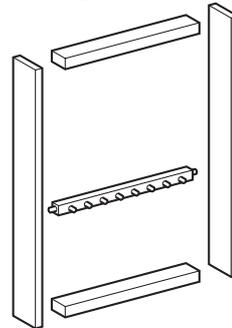
2. 端縦格子・縦格子の切断・加工 (→P.8)



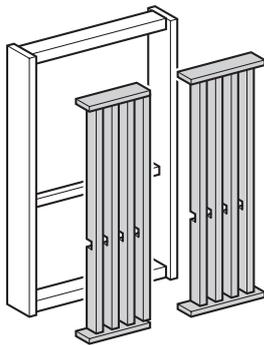
3. ユニットの組立て (→P.10)



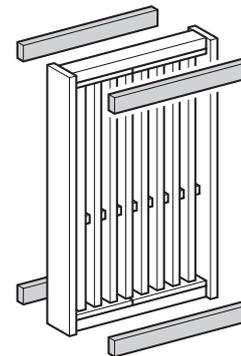
4. 端縦格子と床・天井受け棧の取付け (→P.12)



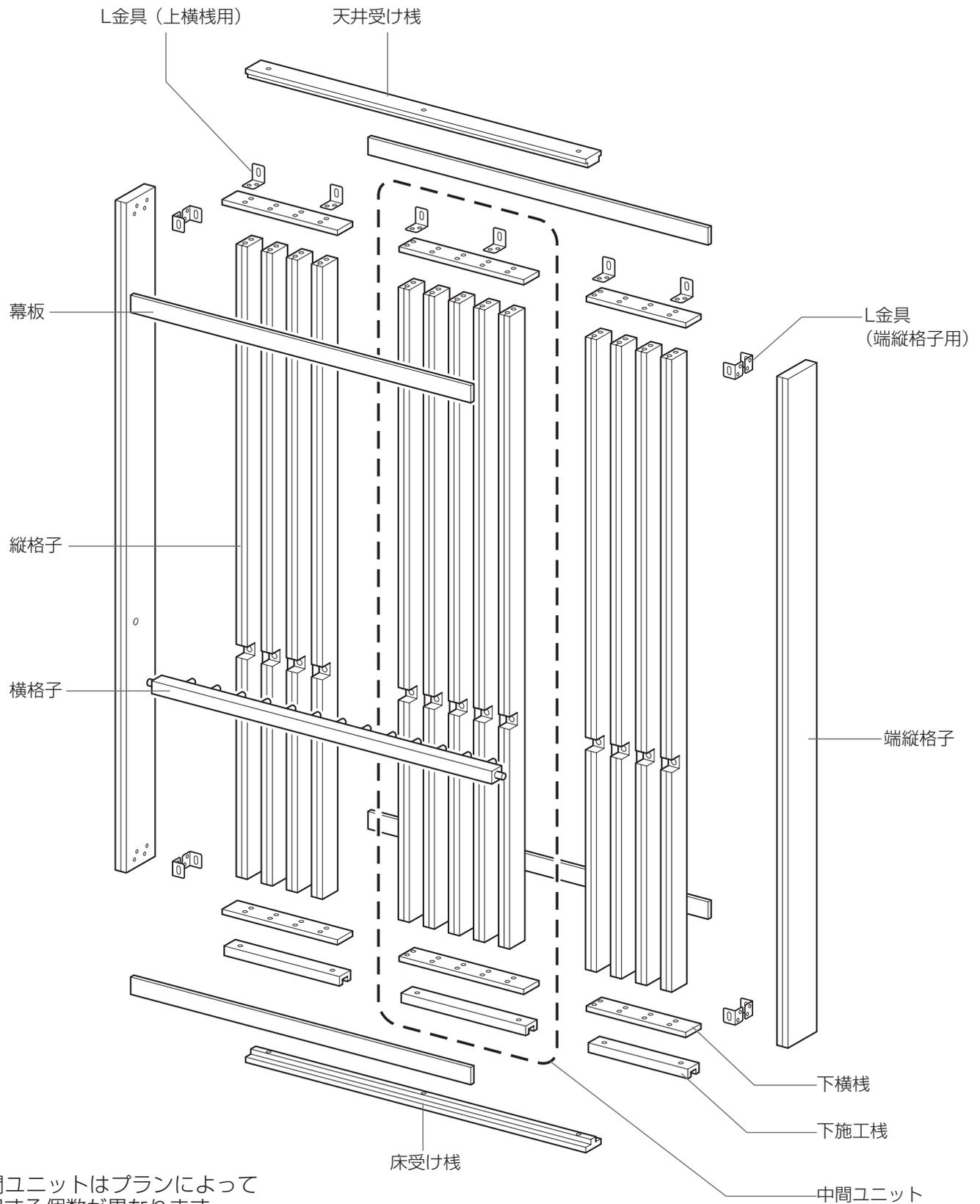
5. ユニットの取付け (→P.15)



6. 幕板の取付け (→P.17)



# 4. 各部のなまえ



中間ユニットはプランによって使用する個数が異なります。

プラン	中間ユニットの数
W590	0
W900	1
W1210	2
W1520	3
W1830	4

※ 図は裏面が正面となっています。

# 5. 構成部材

部材の種類と数量、状態を確認してください。

端部ユニットA	
端縦格子	左右各1
縦格子	2

中間ユニット		
縦格子	5	
上横棧 (中)	1	
下横棧 (中)	1	
下施工棧 (中)	1	
金具セット	L金具 (上横棧用)	2
	L金具取付ビス トラスφ3.5×16	4
	ユニット固定ビス (天井受け棧用) トラスφ4.0×25	2
	上下横棧取付ビス ナゲシφ4.2×50	20
	ユニット固定ビス (床受け棧用) ナゲシφ4.2×50	4
	下施工棧取付ビス サラφ4.0×25	2

端部ユニットB		
縦格子	6	
上横棧 (左)	1	
下横棧 (左)	1	
上横棧 (右)	1	
下横棧 (右)	1	
下施工棧 (左)	1	
下施工棧 (右)	1	
金具セット	L金具 (端縦格子用)	8
	L金具 (上横棧用)	4
	L金具取付ビス トラスφ3.5×16	32
	ユニット固定ビス (天井受け棧用) トラスφ4.0×25	4
	上下横棧取付ビス ナゲシφ4.2×50	32
	ユニット固定ビス (床受け棧用) ナゲシφ4.2×50	8
	壁固定ビス ナゲシφ4.2×65	2
	下施工棧取付ビス サラφ4.0×25	4

プラン 品番	栈木・幕板				
	W590用	W900用	W1210用	W1520用	W1830用
天井受け棧	1	1	1	1	1
床受け棧	1	1	1	1	1
幕板 (両面テープ付き)	4	4	4	4	4
横格子	1	1	1	1	1
床受け棧固定ビス ナゲシφ4.2×50	6 (使用本数は4本)	6	6 (使用本数は5本)	6	7
天井受け棧固定ビス ナゲシφ4.2×65	6 (使用本数は4本)	6	6 (使用本数は5本)	6	7
ビスリード穴ゲージ (縦格子用)	1	1	1	1	1
型紙 (端縦格子用)	1	1	1	1	1
施工説明書・取扱説明書	1	1	1	1	1

# 6. 施工前の確認と準備

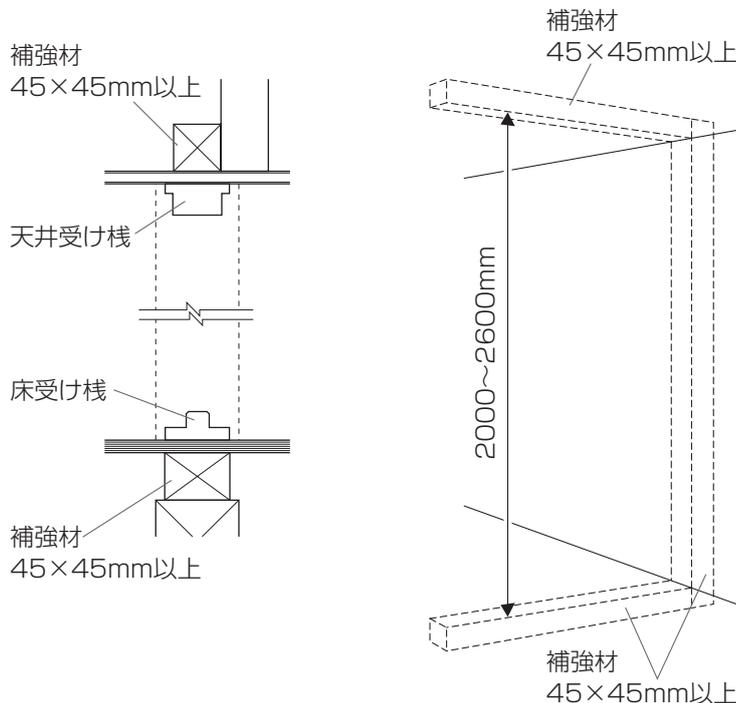
## 1. 取付け用下地の確認

1. 床から天井の高さを測定してください。
2. 天井と床に補強材(45×45mm以上)を入れてください。
3. 壁に取付ける場合は、壁に補強材(45×45mm以上)を入れてください。

※軽量鉄骨下地の場合は別途条件があります。(下記参照)

### ◆ 施工上のご注意

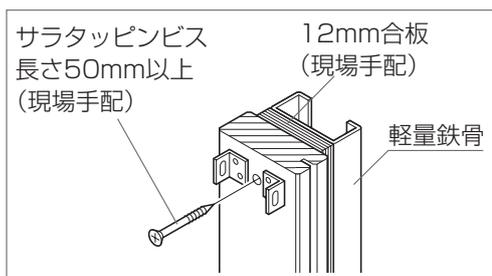
補強材を入れる際、躯体の水平・垂直を正しく出してください。



## 2. 壁下地の条件を確認

木下地	○
軽量鉄骨下地	○ <sup>*1</sup>

<sup>\*1</sup>軽量鉄骨下地の場合には、12mm合板、サラタッピンビス長さ50mm以上を現場手配してください。



## 3. 床下地材の条件を確認

在来 (木造)	木質フロア	○	マンション 二重床	○
	タイル	×		
	クッションフロア	×	直張床	×
	カーペット	×		
	畳	×		

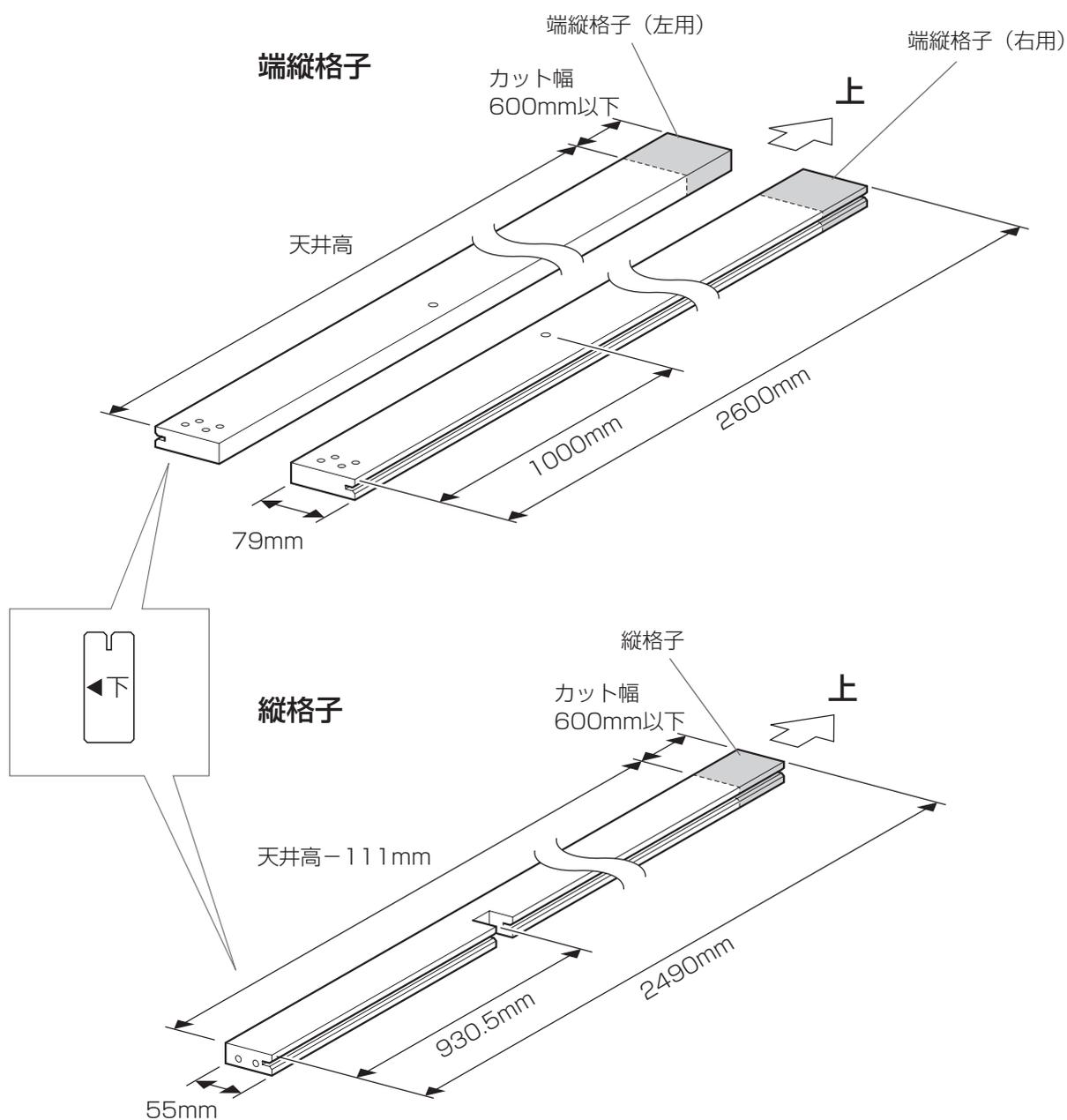
# 7. 端縦格子・縦格子の切断・加工

## 1. 端縦格子・縦格子の切断

天井高さに合わせて、端縦格子・縦格子の上部を切断してください。端縦格子は<天井高>にカットしてください。縦格子は<天井高-111mm>にカットしてください。

### ◆ 施工上のご注意

- 格子の上下を間違えると、横格子の取付けができなくなります。切断する際は、必ず上側からカットしてください。
- 施工に必要なすき間を設ける場合は天井高-5mmまでとしてください。
- 端縦格子どうし、縦格子どうしはそれぞれ同じ長さにカットしてください。



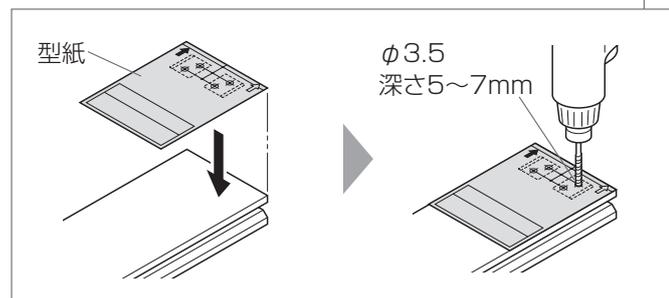
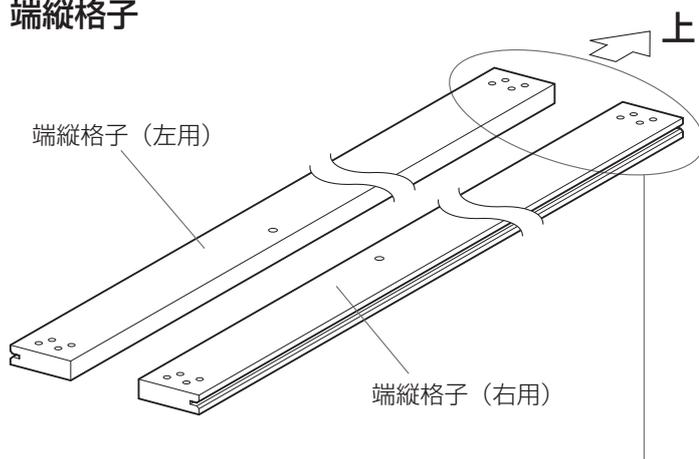
# 7. 端縦格子・縦格子の切断・加工

## 2. 端縦格子・縦格子の加工

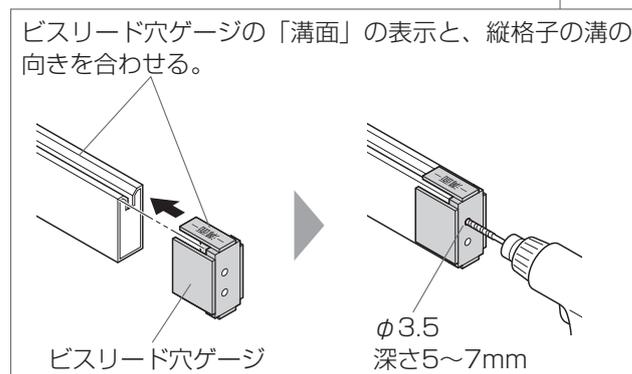
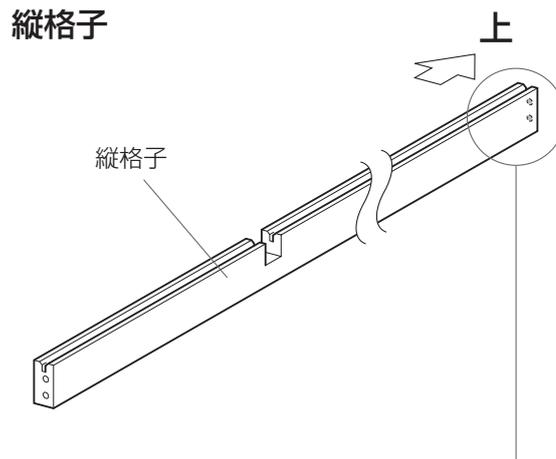
端縦格子・縦格子の上部に型紙とビスリード穴ゲージを使って下穴をあけてください。

型紙とビスリード穴ゲージは、桧木・幕板の梱包に同梱しています。

### 端縦格子



### 縦格子



# 8. ユニットの組立て

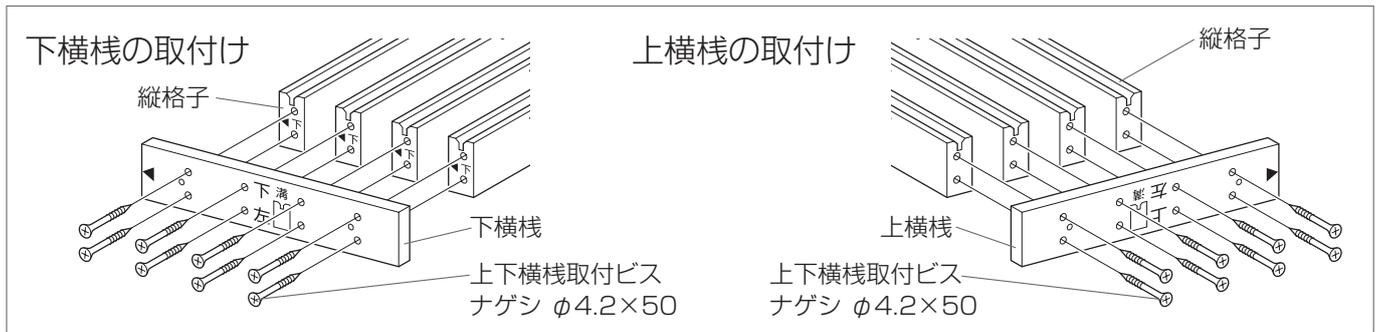
## 1. 縦格子と上・下横棧の組立て

縦格子と上・下横棧をビスで固定してください。  
このとき、上・下横棧の取付方向を確認してください。

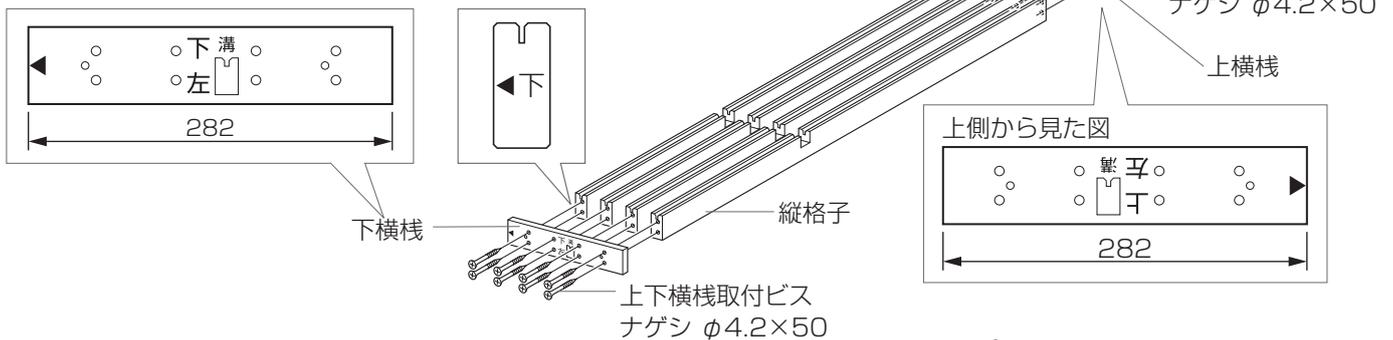
- ①上・下横棧の溝のイラストと縦格子の溝の向きを合わせる。
- ②上・下横棧の(◀)印と縦格子底面の(◀)印を合わせる。

### ◆ 施工上のご注意

ビスは必ず下穴に固定してください。  
下穴からズレると割れるおそれがあります。

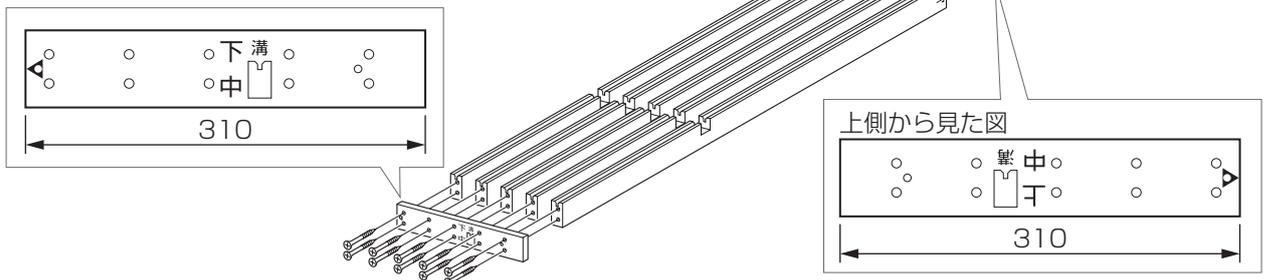


### 左ユニット

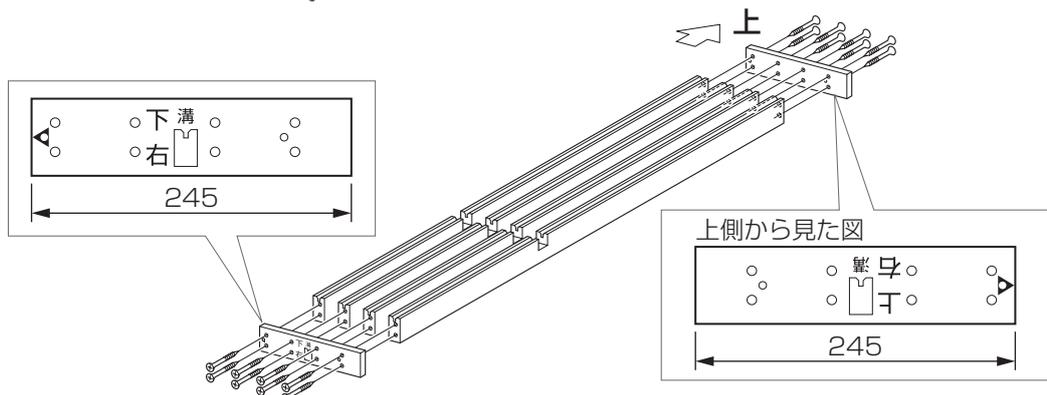


### 中間ユニット

※ W590プランの場合は中間ユニットを使用しません。



### 右ユニット

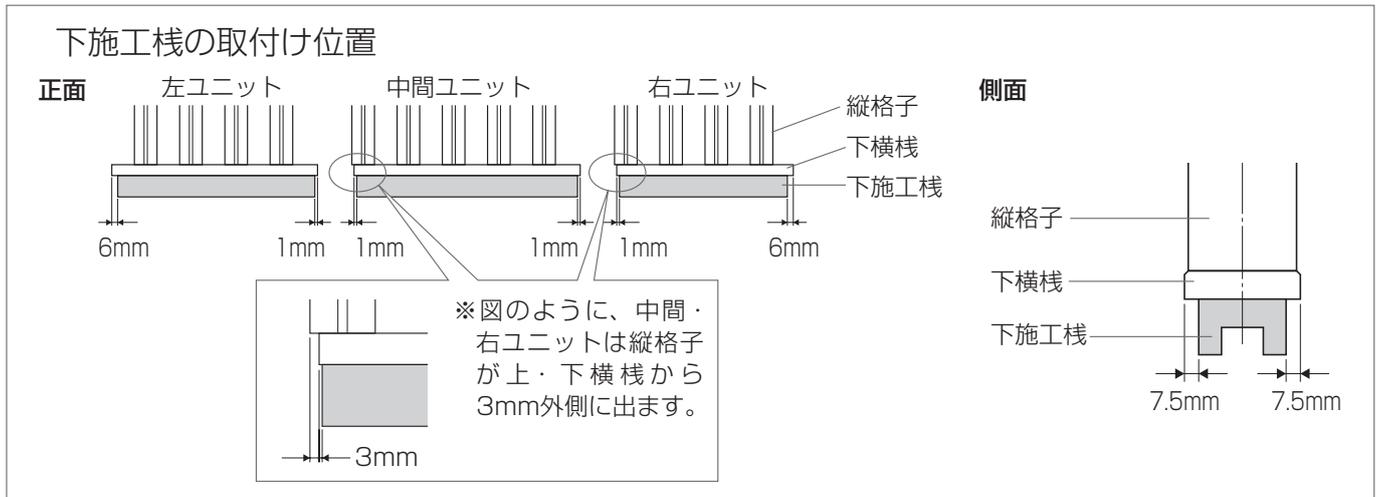
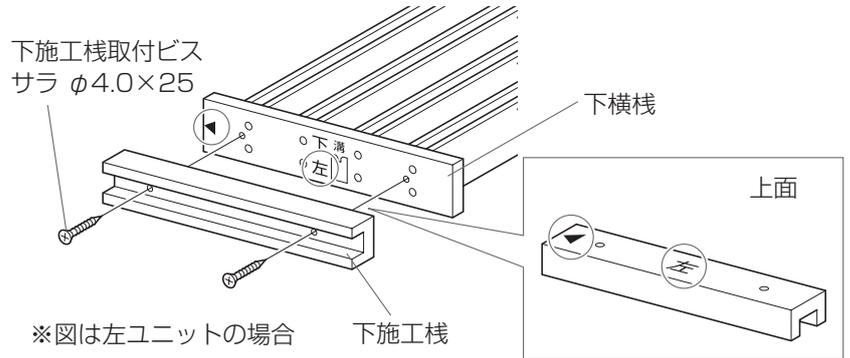


# 8. ユニットの組立て

## 2. 下施工棧の取付け

下横棧に下施工棧をビスで固定してください。

このとき、左・中間・右ユニットそれぞれの下横棧、下施工棧の「左・中・右」と「(◀)印」の表記を確認してください。



## 3. L金具の取付け

端縦格子と各ユニットの上横棧にL金具を取付けてください。

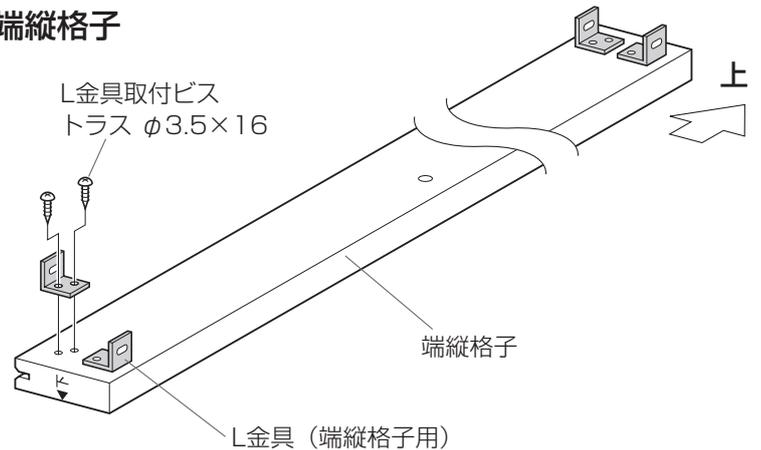
### ◆ 施工上のご注意

L金具は上横棧用、端縦格子用の2種類があります。穴の向きに注意してください。

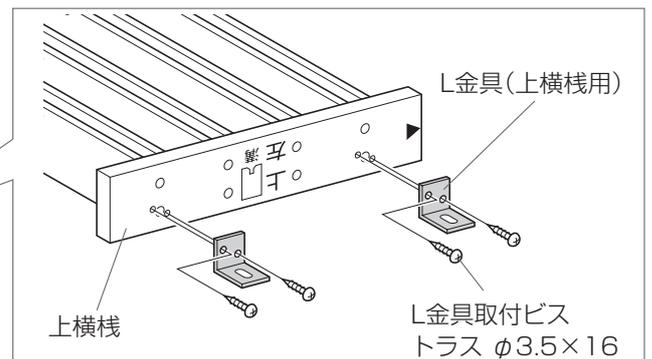


### 端縦格子

L金具取付ビス  
トラス φ3.5×16



### 上横棧



# 9. 端縦格子と床・天井受け棧の取付け

## 1. 取付け前の確認

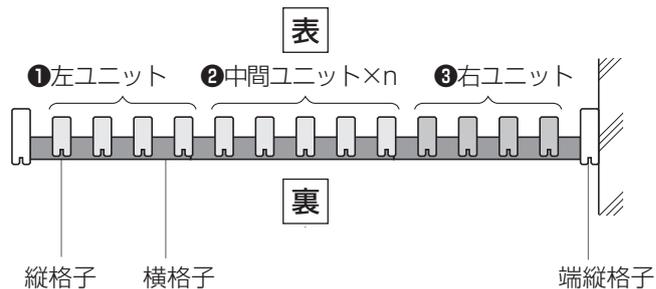
溝がある側を正面としたときに、左ユニットから順に、右図の位置となるようにユニットの位置を確認してください。

取付ける位置を間違えると、最後に取付けるユニットが枠内におさまらなくなります。

### ◆施工上のご注意

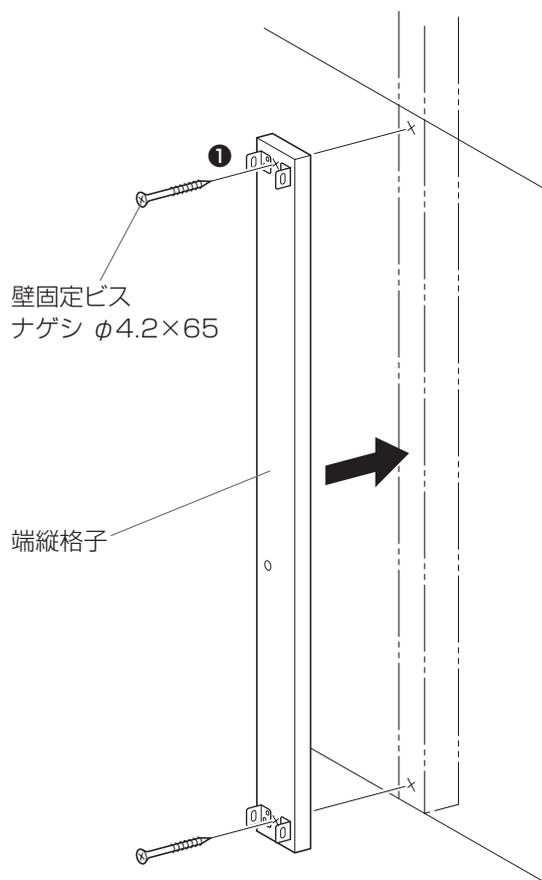
壁に取付ける場合と壁から離して取付ける場合で、手順が異なります。

取付ける前に取付け位置を確認してください。



## 2. 壁に取付ける場合

1. 片側の端縦格子を壁に取付けてください。

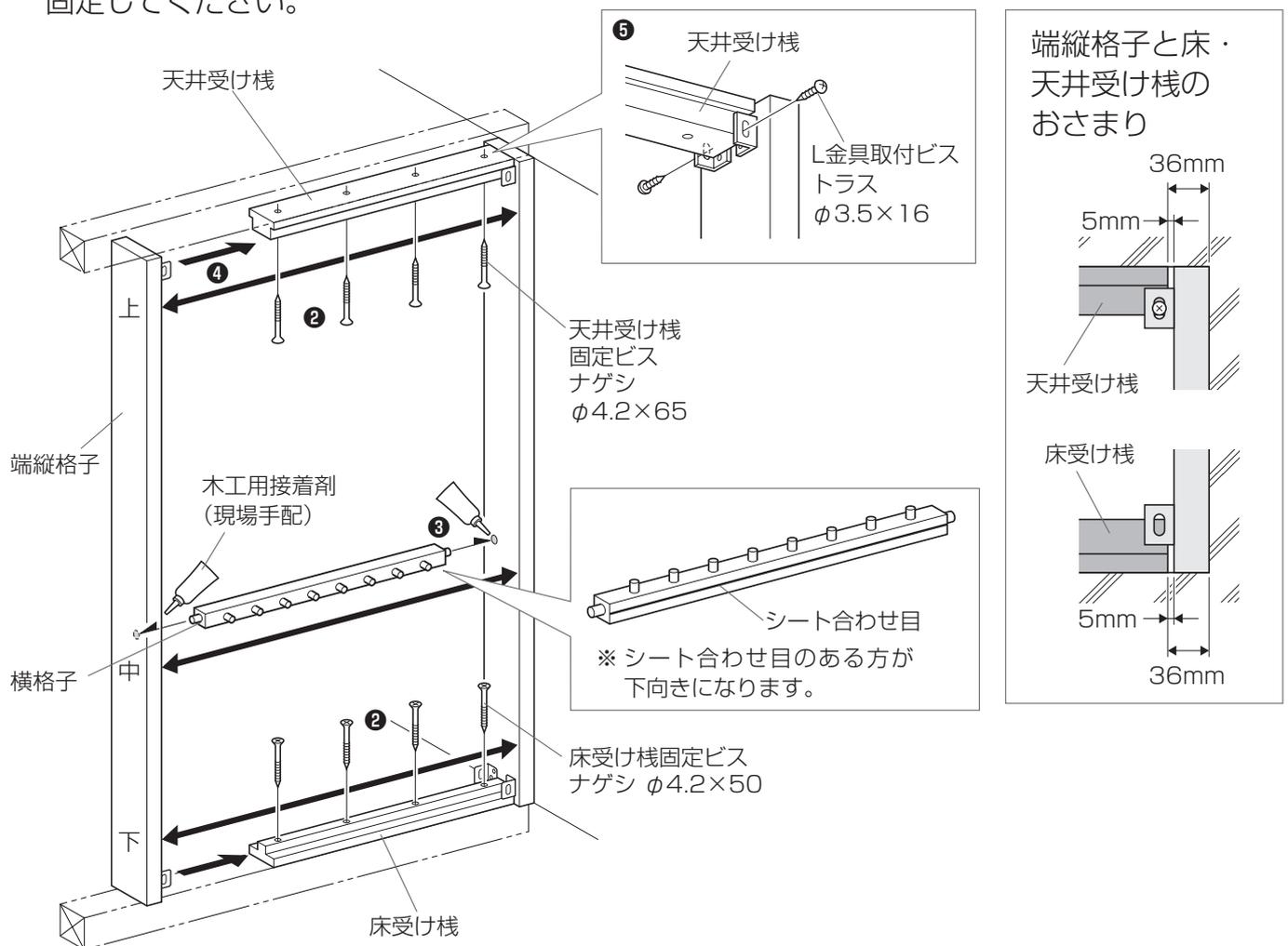


## 9. 端縦格子と床・天井受け棧の取付け

2. 床・天井受け棧をそれぞれ床・天井にビスで固定してください。
3. 木工用接着剤(現場手配)を使用して、横格子と端縦格子を固定してください。
4. 逆側の端縦格子を取付けてください。
5. 天井受け棧と端縦格子をビスで固定してください。

### ◆ 施工上のご注意

- 横格子はシート合わせ目が下側になるように取付けてください。
- 床受け棧と端縦格子の固定はユニットを取付けてから行います。この手順では固定しないでください。



6. 固定後、幅方向の内寸が上・中・下で同じ寸法になっていることを確認してください。

### 3. 壁から離して取付ける場合

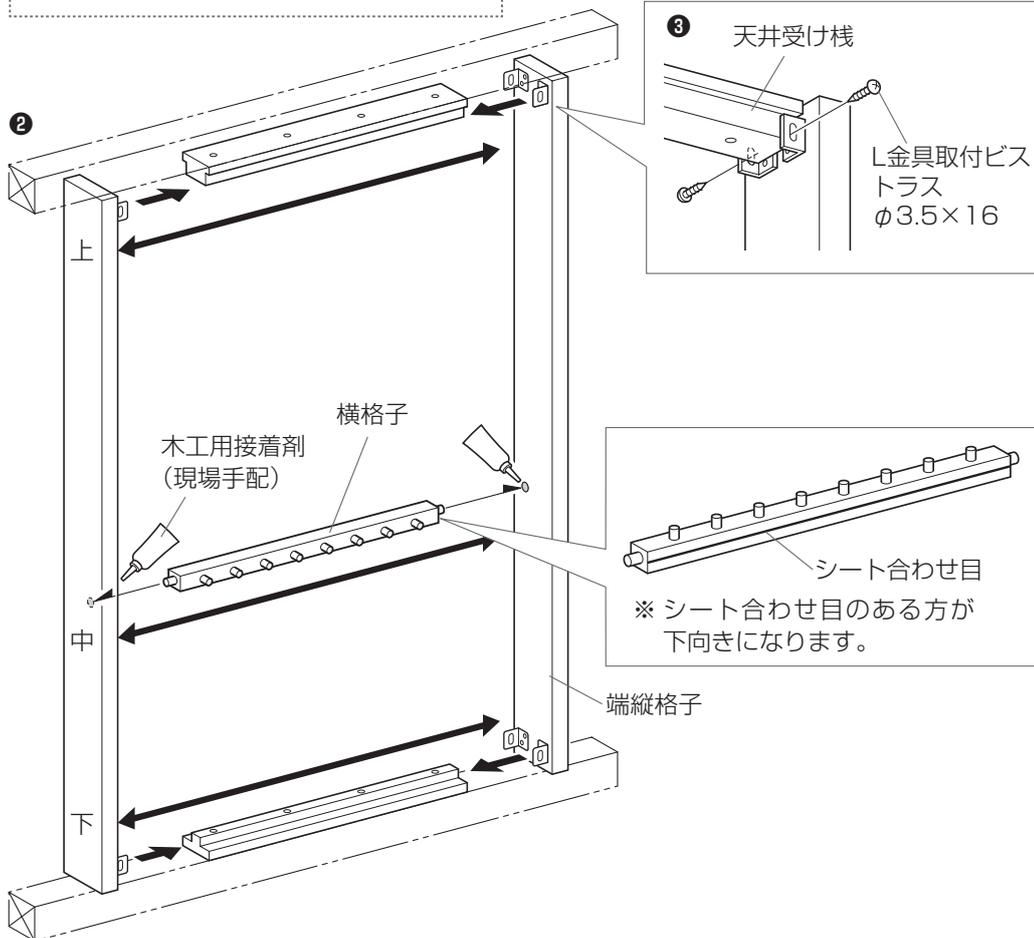
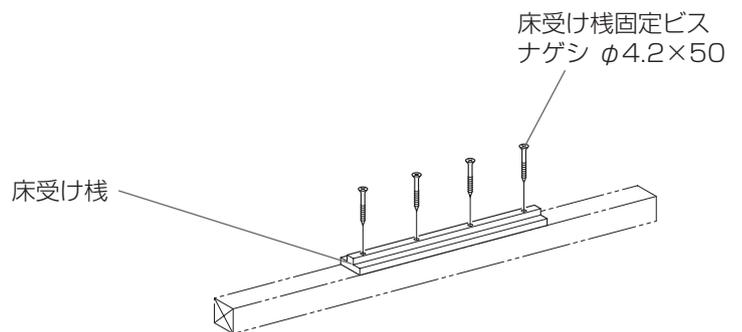
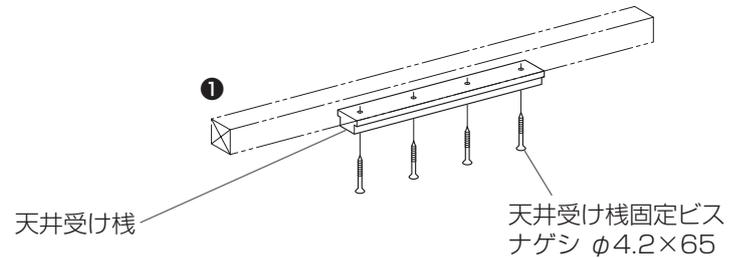
#### ◆ 施工上のご注意

端縦格子を取付けるために、床・天井受け棧の両側に70mm以上スペースをあけてください。

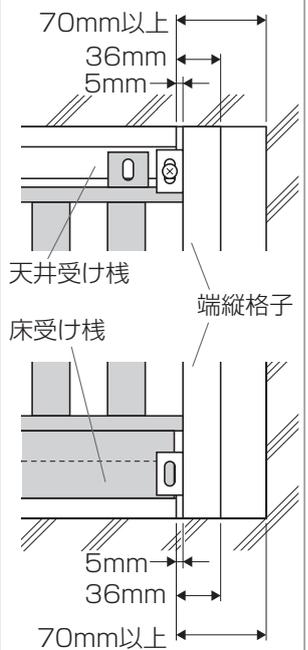
1. 床・天井受け棧をそれぞれ床・天井にビスで固定してください。
2. 木工用接着剤（現場手配）を使用して、左右の端縦格子と、横格子を固定してください。
3. 天井受け棧と端縦格子をビスで固定してください。

#### ◆ 施工上のご注意

- 横格子はシート合わせ目が下側になるように取付けてください。
- 床受け棧と端縦格子の固定はユニットを取付けてから行います。この手順では固定しないでください。



#### 端縦格子と床・天井受け棧のおさまり



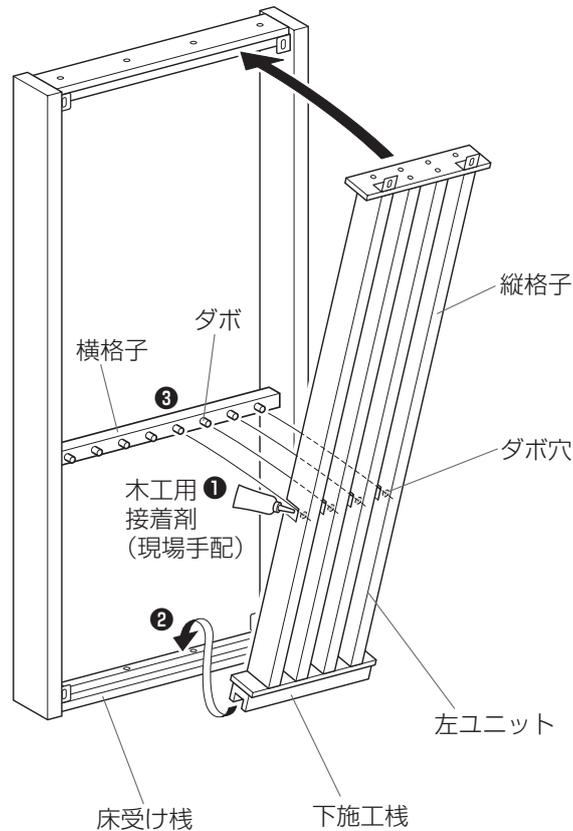
4. 固定後、幅方向の内寸が上・中・下で同じ寸法になっていることを確認してください。

# 10. ユニットの取付け

1. 縦格子のダボ穴に木工用接着剤（現場手配）を塗布してください。
2. 左ユニットを図のように立ち上げながら、下施工枠を床受け枠の溝に入れてください。
3. 横格子のダボを縦格子のダボ穴におさめてください。

### ◆ 施工上のご注意

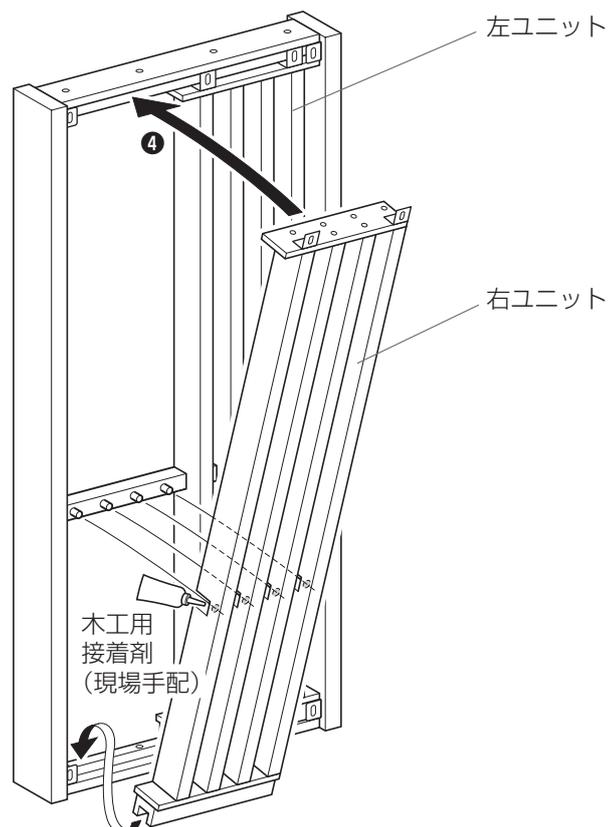
ダボ組みはあて木などをしたたき込み、すき間のないように取付けてください。



4. 残りのユニットを同様に取付けてください。

### ◆ 施工上のご注意

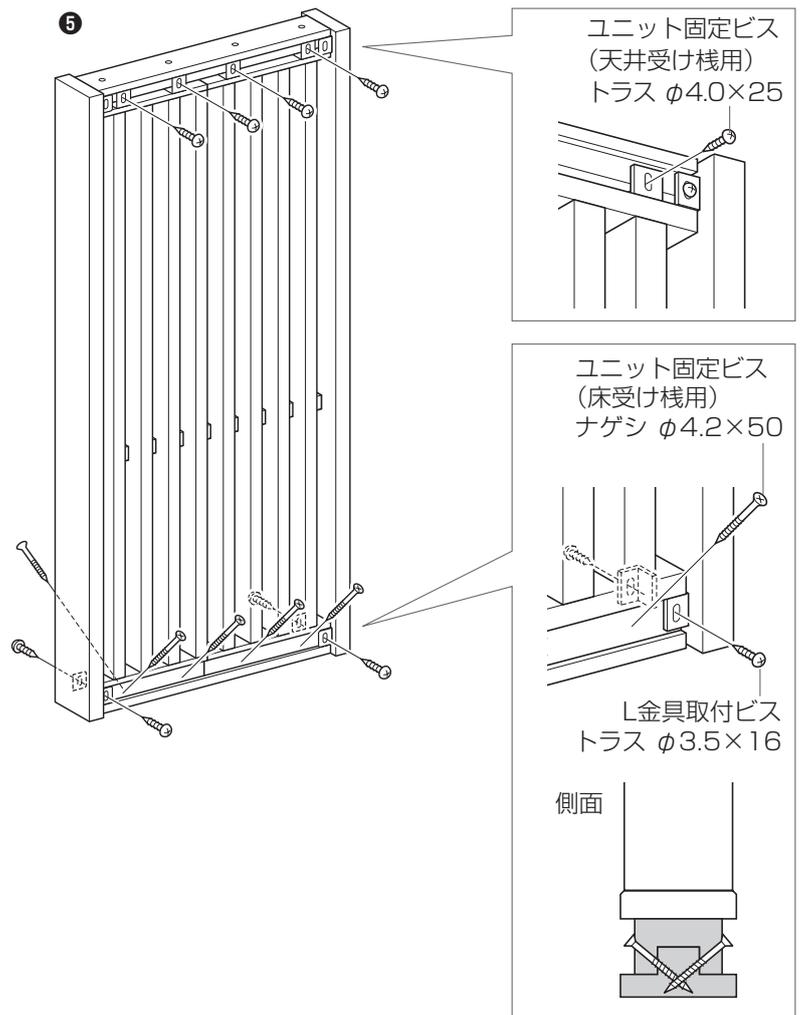
- ユニットどうしを連結するときは、隣のユニットとすき間がないように取付けてください。
- ユニットどうしを連結するときは、勢いをつけてぶつけないでください。キズがつくおそれがあります。



5. ユニットと天井・床受け枠をビスで固定してください。

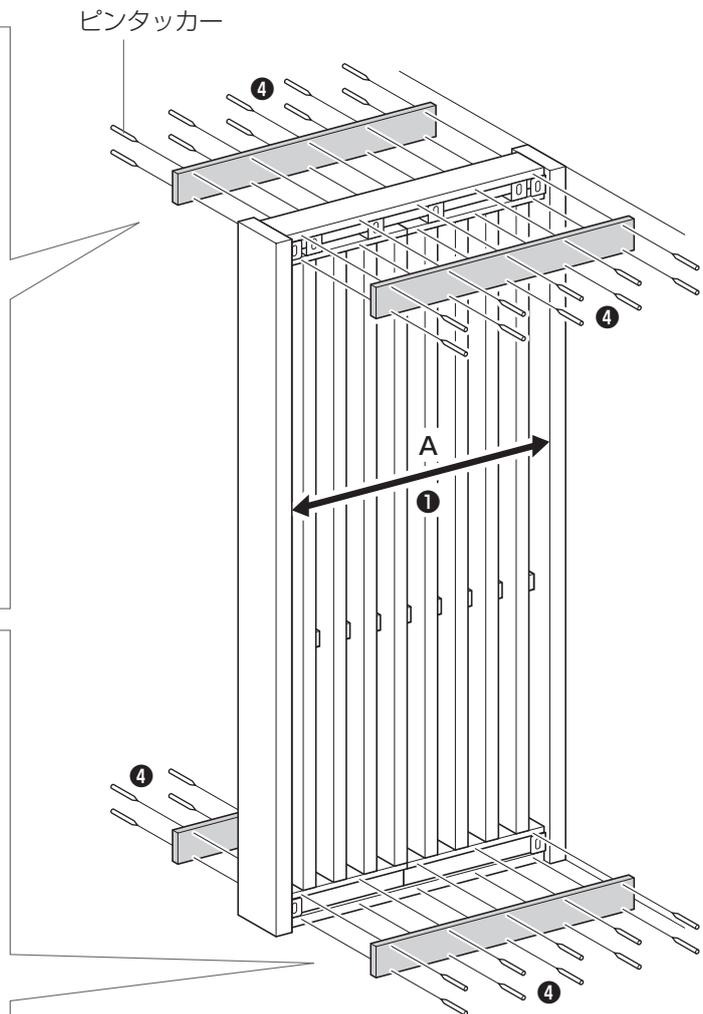
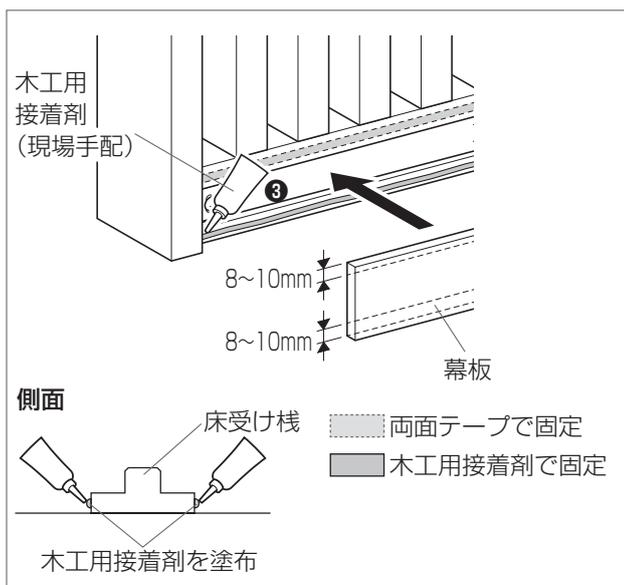
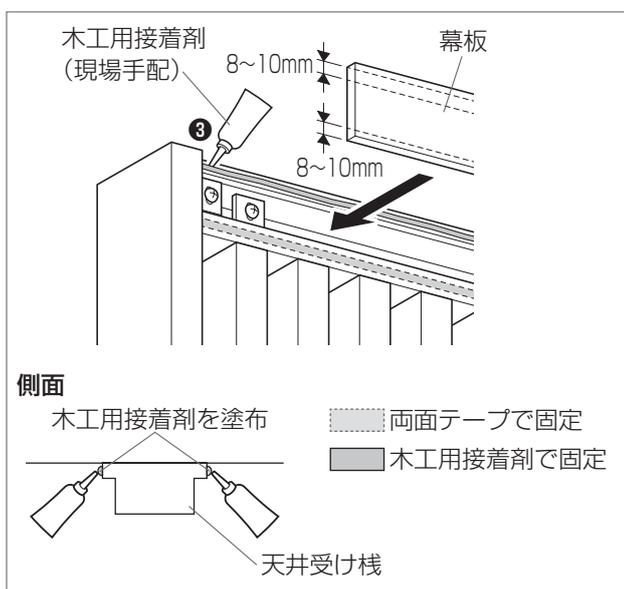
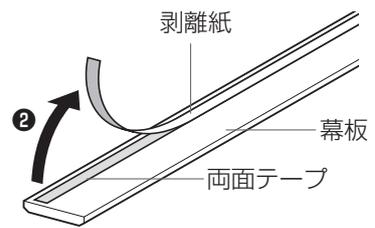
◆ 施工上のご注意

指定されたビスを用いて固定してください。間違えると製品の十分な強度が得られません。



# 11. 幕板の取付け

1. 端縦格子と端縦格子の間の寸法（図のA）に合わせて、幕板をカットしてください。
2. 幕板裏面の剥離紙をはがしてください。
3. 床・天井受け棧に木工用接着剤（現場手配）を塗布してください。
4. 幕板を取付け、ピンタッカーで固定してください。



## ◆ 施工上のご注意

- ピンタッカーは幕板と上・下横棧、床・天井受け棧が重なる位置に打ってください。
- ピンタッカーの間隔は約150mmを目安にしてください。

# 1. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)

この説明書に書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や物的損害を防ぐためのものです。必ずお守りください。

## 警告表示の種類と内容

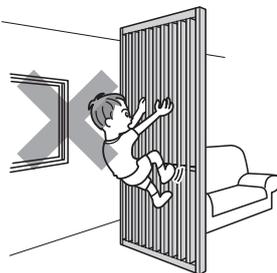
	<b>警告</b>	誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容		<b>注意</b>	誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容
---	-----------	-------------------------------	---	-----------	---------------------------------

本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。

	してはいけない内容です		必ず実行していただく内容です	<b>お願い</b>	留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法等
---	-------------	---	----------------	------------	----------------------

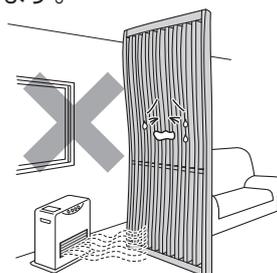
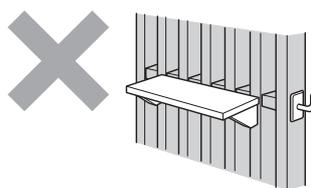
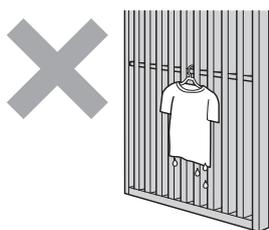
### ⚠ 注意

- 製品にぶらさがったり、強い衝撃を与えたり、寄りかかったりしないでください。



# 2. 使用上のお願い

- 製品にハンガーをかけた、濡れたものをかけないでください。製品のキズやふくれ、反りの原因となります。
- この製品の分解や改造はしないでください。製品強度が失われ、けがや破損の原因となります。
- ストープ等の熱源を近づけないでください。製品が反る原因になります。
- 本製品を汚れたままにしないでください。腐食やかびの原因となります。



- 本製品に粘着力の強いテープなどを貼り付けしないでください。表面のはがれや破損の原因となります。

# 3. お手入れのしかた

- 日常のお手入れは、乾拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、うすめた中性洗剤につけた雑巾を固く絞って拭いた後、乾拭きしてください。

### ◆ 汚れを落とすときのご注意

シンナー、ベンジンなどを使用しないでください。表面のツヤが無くなったり、変色するおそれがあります。



# DAIKEN製品の品質保証について

弊社では、下記対象製品について、「保証期間一覧表」に示す期間、保証事項に記す内容に基づき、無料で修理させていただきます。  
保証期間経過後の修理については有料となります。

## ■対象製品

hapia 格子間仕切

## ■保証事項

通常的环境下にて、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態（前提条件）で、弊社の責任に起因する製品不具合（保証期間一覧表参照）を無料で修理します。

なお、本内容は日本国内においてのみ有効です。

※修理とは、壊れたり傷んだりした部分に手を加えて、再び使用できるようにすること。

（原則、新品交換は含みません）

## ■保証期間

弊社製品の施工完了後、または物件の引渡後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を無料で修理する期間としております。（保証期間一覧表参照）  
保証期間経過後の修理については有料となります。

### 保証期間一覧表

保証事項	保証事項		保証期間	
	保証箇所	保証対象となる不具合現象	起算時期	
使用上の著しい障りが生じないこと	本体	変形、変質（反り、ハガシ、クラック）	引渡後	2年
外観上の著しい変形・変質が生じないこと				

※1:「著しい」の定義

正常な施工・使用状態のもとで経過時間を考慮し、客観的に見て通常の状態から逸脱している度合いが極めて大きいことをいいます。

※2:保証期間起算時期について

保証事項が「使用」に係るものについては、保証期間を「物件引渡後」から起算します。それ以外のものについては、「当該製品施工完了後」から起算します。

## ■免責事項

・製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外になります。

- 1) 建物の設計・施工に起因する不具合
- 2) 施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- 3) 自然現象・周辺環境など（※1）の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れまたはその他の不具合
- 4) 室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取付けられたことに起因する不具合
- 5) 極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取付けられたことに起因する不具合
- 6) 建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
- 7) 入居者または第三者の不適切な使用または維持管理などに起因する不具合
- 8) 取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
- 9) 経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変褪色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
- 10) 用途外に使用された場合の故障および損害（例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合など）
- 11) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキウイムシなどの虫害に起因する不具合
- 12) 仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
- 13) 保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
- 14) 製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する不具合
- 15) 離島などの遠隔地への出張を要する修理をおこなう場合、出張に要する実費
- 16) その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合

※1: 火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

## ユーザー登録サービス

製品を末永く安全にご使用いただくために、ユーザー登録をお願いいたします。

ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です！！

登録はこちらから

<https://www.daiken.jp/qr/user/>



## お問い合わせ窓口について

●製品に関するお取扱い、補修、工事などのご相談は、組立て・設置業者、工務店へ。

### 製品に関するお問い合わせ

DAIKENお客様センター

☎ 0120-787-505

（フリーダイヤル）

●受付時間…平日9:00～17:00

（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

<https://www.daiken.jp/qr/form01/>

メールで  
写真も  
送ることが  
できます。



### 修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ

部品のネット販売サイトです。

※購入に際しては登録が必要です。

<https://www.daiken.jp/qr/service/>

DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶

▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ



ご相談窓口における  
個人情報のお取扱い

DAIKEN株式会社およびDAIKENグループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（DAIKEN株式会社プライバシーポリシー）に準じて、当社ホームページに掲載しております。）なお、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

DAIKEN株式会社

DAIKENのホームページアドレス <https://www.daiken.jp/>